

● 準学士課程（本科）

① ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）

目標とする人材像

- （１）工学の基礎知識を備え、倫理観を持ち、自ら問題を発見し、技術的知識・技能を駆使して問題を解決していくことができる実践的技術者
- （２）幅広い教養を備え、社会、環境等の諸問題に自ら関心を示し、リーダーシップを発揮して積極的に社会に関わっていく人材
- （３）文化の多様性を認識し、自ら諸外国との交わりに関心を抱き、国際社会に貢献できる人材

上記の目標とする人材像に即して、自ら課題を発見し解決することができるよう主体的に学び、以下に示す能力等を身に付け、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 工学全般にわたる基礎学力、応用力及び一般教養2. エンジニアリングデザインの基盤となる能力3. 社会のグローバル化に対応する能力4. 様々な人々との協働力 |
|---|

② カリキュラムポリシー（教育課程の編成および実施に関する方針）

ディプロマポリシーを達成するために、以下のカリキュラムポリシーに則り、教育課程を編成します。

1. 理数系及び人文社会系などのリベラルアーツ科目と、データサイエンスを含む分野横断的な共通専門科目、並びに各系における専門科目を授業科目として編成します。
2. 実践的な問題解決型学習、アクティブラーニング、実験・実習、卒業研究などを通じて、課題の発見能力、解決能力及び論理的に表現する能力を育成する授業科目を編成します。
3. 異文化を理解し、コミュニケーション力を育成する授業科目を編成します。
4. 地域の文化を理解し、人間力を育成する授業科目を編成します。

各系における専門科目の編成方針を以下に示します。

情報エレクトロニクス系	電気電子工学及び情報工学に関する基礎的な知識・技術を修得できるよう、電気電子分野では、電気回路、電磁気、電子回路、電子工学、電力、計測、及び制御、また、情報分野では、情報数学・情報理論、計算機工学、ソフトウェア工学、システム工学、メディア情報処理、情報通信ネットワーク、及び情報セキュリティに関する科目を配置します。
機械ロボティクス系	機械工学及び電気電子工学に関する基礎的な知識・技術を修得できるよう、機械分野における設計製図、機械設計、力学、熱流体、工作、材料、及び計測制御、また、電気電子分野における電気回路、電磁気、電子回路、及び計測に関する科目を配置します。
都市デザイン系	環境都市工学（土木工学、建設工学、社会システム工学）に関する基礎的な知識・技術を修得できるよう、建設分野における測量、材料、構造、地盤、水理、環境、計画、施工・法規、及び製図、また、建築分野における環境・設備、計画・歴史、及び設計・製図に関する科目を配置します。

上記により設定される各科目における達成度は、試験、課題等を考慮して、100点満点によって評価します。評価項目、評価割合はそれぞれのシラバスに記載します。

③ アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）

入学者として次のような人を広く求めます。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 中学校での教育を修めた人、またはそれと同等な能力のある人2. 中学校などで学んだ数学及び理科に深い理解力・応用力があり、英語でのコミュニケーションに積極的な人3. ものづくり、情報技術、その他の工学に関連する技術や研究に興味を持っている人、または工学を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人 |
|---|

入学選抜の基本方針

上記の求める人材を受け入れるため、以下の選抜を行います。

（１）推薦選抜

調査書及び面接などを総合して選抜します。

（２）学力選抜

学力検査（理科、英語、数学、国語、社会）の成績及び調査書などを総合して選抜します。

（３）帰国生徒特別選抜

学力検査（理科、英語、数学）の成績、作文、調査書及び面接などを総合して選抜します。

第４学年編入学者として次のような人を広く求めます。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 高等学校での教育を修めた人、またはそれと同等な能力のある人2. 高等学校などで学んだ数学及び理科に深い理解力・応用力があり、英語でのコミュニケーションに積極的な人3. ものづくり、情報技術、その他の工学に関連する技術や研究に興味を持っている人、または工学を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人 |
|---|

入学選抜の基本方針

学力検査（英語、物理、数学）の成績、面接及び調査書などを総合して選抜します。

● 準学士課程（本科）【旧学科】

① ディプロマポリシー（卒業の認定に関する方針）

目標とする人材像

- （１）工学の基礎知識を備え、倫理観を持ち、自ら問題を発見し、技術的知識・技能を駆使して問題を解決していくことができる実践的技術者
- （２）幅広い教養を備え、社会、環境等の諸問題に自ら関心を示し、リーダーシップを発揮して積極的に社会に関わっていく人材
- （３）文化の多様性を認識し、自ら諸外国との交わりに関心を抱き、国際社会に貢献できる人材

上記の目標とする人材像と各学科の人材養成上の目的に即して、自ら問題を見つけ解決することができるよう主体的学習に取組み、以下に示す能力等を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定します。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 工学全般にわたる基礎学力、応用力および人文社会科学の素養 |
| 2. エンジニアリングデザインの基盤となる能力 |
| 3. グローバル化への対応能力 |

上記に加え、各学科において身につけるべき能力を以下に示します。

学 科 名	各学科において身につけるべき能力
機械工学科	機械工学に関する設計、製作、計測などものづくりに必要な知識・技術
電気電子工学科	電気電子工学におけるエネルギー変換、エレクトロニクスおよび情報通信に関わる各分野の知識・技術
電子制御工学科	電子制御技術に関する機械工学分野、電気・電子工学分野および制御・情報工学分野の知識・技術
電子情報工学科	電気電子工学、情報工学に関するハードウェア・ソフトウェアの知識・技術
環境都市工学科	環境都市工学（土木工学・建設工学・社会システム工学）に関するまちづくり・社会基盤デザインの知識・技術

② カリキュラムポリシー（教育課程の編成および実施に関する方針）

ディプロマポリシーを達成するために、以下のカリキュラムポリシーに則り、教育課程を編成します。

1. 理数系基礎科目および人文社会系の教養科目を低学年に、工学系科目を高学年に配置します。
2. 実践的な問題解決型学習、アクティブラーニングによる学習、実験実習、卒業研究などを通じて、課題の発見能力、解決能力および論理的に表現する能力を育成する授業科目を編成します。
3. 異文化を理解し、コミュニケーション力を育成する授業科目を編成します。

上記に加え、各学科のポリシーを以下に示します。

学 科 名	ポ リ シ ー
機械工学科	機械工学に関する基礎的な知識・技術が修得できるよう、基礎科目ならびに設計製図、工場実習、工学実験などの実験、実習および実技科目をバランス良く編成します。
電気電子工学科	電気電子工学に関する基礎的な知識・技術を修得できるよう、基礎科目ならびに電気電子工学実験、電気工事士セミナー、電気電子製図などの実験、実習および実技科目をバランス良く編成します。
電子制御工学科	機械工学、電気・電子工学および制御・情報工学に関する基礎的な知識・技術が修得できるよう、基礎科目ならびに工学実験実習などの実験、実習および実技科目をバランス良く編成します。
電子情報工学科	電気電子工学および情報工学に関する基礎的な知識・技術を修得できるよう、基礎科目ならびに工学実験実習、情報処理演習などの実験、実習および実技科目をバランス良く編成します。
環境都市工学科	環境都市工学に関する基礎的な知識・技術を修得できるよう、基礎科目ならびに実験実習、設計製図などの実験、実習および実技科目をバランス良く編成します。

上記により設定される各科目における達成度は、試験、課題等を考慮して、100点満点によって評価します。評価項目、評価割合はそれぞれのシラバスに記載します。

③ アドミッションポリシー（入学者の受入れに関する方針）

準学士課程（本科）は、入学者として、目的を持ち勉学に取り組むことのできる、次のような人を広く求めます。

- | |
|---|
| 1. 中学校での教育を修めた人、またはそれと同等な能力のある人 |
| 2. 中学校などで学んだ数学及び理科に深い理解力・応用力があり、英語でのコミュニケーションに積極的な人 |

上記に加え、各学科のポリシーを以下に示します。

学 科 名	各学科のアドミッションポリシー
機械工学科	ものづくり、プログラミングその他の機械工学に関連する技術や研究に興味を持っている人、または機械工学を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人
電気電子工学科	電子工作や実験が好きで、電気エネルギー、エレクトロニクス、情報通信など電気電子工学に関連する技術や研究に興味を持っている人、または電気電子工学を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人
電子制御工学科	機械装置やそれを動かすための電気・電子、制御・情報工学に関連する技術や研究に興味を持っている人、または電子制御工学（機械工学・電気電子工学）を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人
電子情報工学科	ものづくり、プログラミングその他の電子情報工学（電気電子工学・情報工学）に関連する技術や研究に興味を持っている人、または電子情報工学を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人
環境都市工学科	ものづくり、プログラミングその他の環境都市工学（土木工学・建設工学・社会システム工学）に関連する技術や研究に興味を持っている人、または環境都市工学を学んで地域や国際社会の発展に役立ちたいと考えている人

入学選抜の基本方針

上記の求める人材を受け入れるため、以下の選抜を行います。

（１）推薦選抜

出身中学校（義務教育学校・中等教育学校）の長が推薦し、準学士課程（本科）が入学者として求める上記の人材像に適合する者を、調査書及び面接などを総合して選抜します。

（２）学力選抜

準学士課程（本科）が入学者として求める上記の人材像に適合する者を、学力検査（理科，英語，数学，国語，社会）の成績及び調査書などを総合して選抜します。

（３）帰国生徒特別選抜

出願資格を満たしている者で、準学士課程（本科）が入学者として求める上記の人材像に適合する者を、学力検査（理科，英語，数学）の成績，作文，調査書及び面接などを総合して選抜します。